Kinivo 501BN HDMI スイッチ

取扱説明書

Kinivo 製品サポート

オンライン：http://support.kinivo.com

Eメール　：support@kinivo.com

目次

重要な安全上の説明

ご使用の前に説明書をよくお読みください

1. 感電の危険防止のため、本体のカバーは外さないでください。修理はすべて、認定の修理担当者にご依頼ください。
2. スイッチを水の近くでご使用にならないでください。
3. クリーニングの際は乾いた布をご使用ください。
4. 本棚、作り付けの棚等、閉め切った場所に取り付けたり、保管したりしないでください。本体は風通しの良い場所に保管ください。
5. 感電または火災の危険防止のため、本体の通気口をふさがないでください。
6. ラジエータ、ストーブ、温風吹出口等、高温となる場所の近くには置かないでください。
7. 雷の時、長期間ご使用にならない時には電源プラグを抜いてください。
8. コンセント付近等で電源コードがはさまれることのないように保護してください。
9. 付属品・アクセサリはメーカー指定のものをご使用ください。.

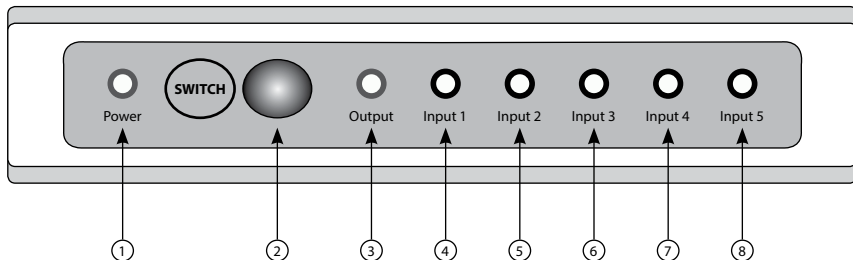
警告

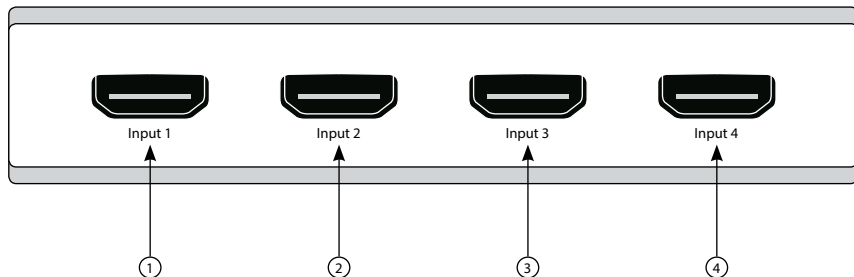
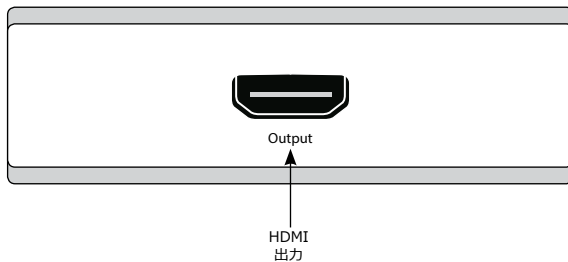
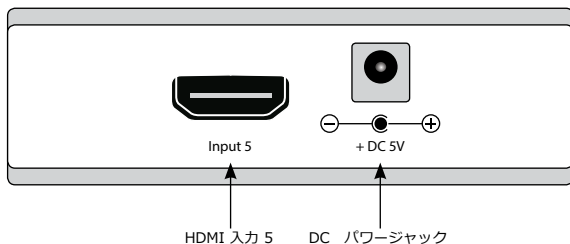
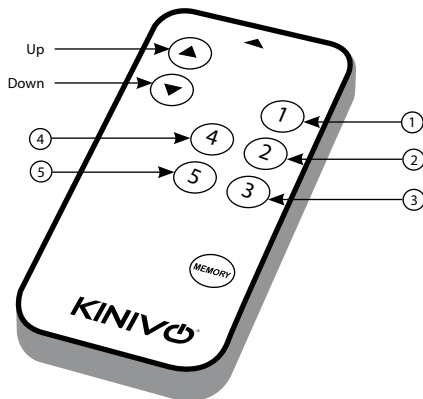
感電の危険あり
開けないでください

はじめに

Kinivo HDMI スイッチは、HDMI ソース機器（DVDプレーヤー、ケーブルボックス、ゲームコンソール等）の、HDTV やビデオプロジェクターのHDMI入力端子（一個）への接続を最高 5 台まで可能にします。HDMI端子が一個のオーディオ・ビデオ受信機の HDMI端子数の追加に使用します。ホームシアター拡充のための、簡単、便利かつ低価格のソリューションです。

設置

フロントパネル・サイドパネル制御装置

1) 電源インジケータ
2) 赤外線リモコン用センサー
3) HDMI 出力インジケータ
4) ～ 8) HDMI 入力インジケータ

バックパネル・サイドパネル　コネクター

1) ～ 4) HDMI 入力; 第 5 入力端子は、サイドパネル上 DCパワージャック脇にあります。

リモートコントロール

作動方法

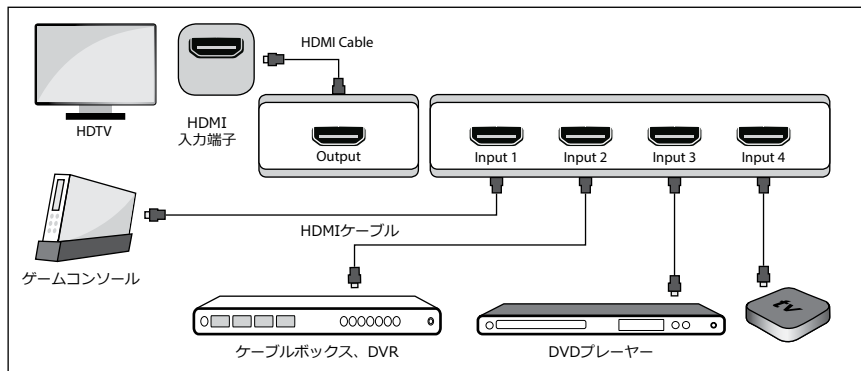
1. 1, 2, 3, 4, 5から HDMI入力を直接選択します。
2. Up（上）またはDown（下）ボタンを　押し、前後の入力ソースを選択します。
3. Memory（記憶）ボタンを押し、使用中の入力ソースを記憶させます。スイッチのリスタート時に自動的に入力ソース端子が選択されます。

一般的な設定

1. HDMIケーブルを一本用意し、一方のプラグをHDTVまたはプロジェクターの HDMI入力端子に差し込みます。もう片方のプラグを HDMIスイッチの出力端子に差し込みます。

2. HDMIケーブルをもう一本用意し、ゲームコンソールのHDMI 出力端子に一方のプラグを差し込みます。もう片方のプラグをHDMIスイッチの HDMI入力端子 1 に差し込みます。

3. 上記の手順でケーブルボックス、デジタルビデオレコーダー(DVR)、DVDプレーヤー等を接続します。

4. パワーアダプターの +DC 5V出力プラグを HDMIスイッチの DC INジャックに差し込みます。(5ページの「サイドパネル・コネクター」参照) パワーアダプターを ACコンセントに差し込みます。 HDMIスイッチは、接続が完了し使用可能な状態になります。

注意: リモートコントロールは赤外線信号を使用しており、赤外線リモコンセンサーとの間に障害物があってはいけません。

LEDインジケータ表示

赤の LED　信号が選択されていません。

青の　LED　信号経路がアクティブ

LEDなし　入力信号なし

仕様

対応解像度	1080p/1080i/720p/576i/480p/480i
対応オーディオ・フォーマット	LPCM, Dolby-AC3, DTS7.1, DSD / Dolby True HD，DTS-HDマスターオーディオ対応
HDCP 1.2　規格	準拠
3D	対応
動作温度範囲	41^{0}F - 131^{0}F
動作湿度範囲	5 - 90%
製品サイズ	117mm*64mm*25mm

FAQ よくある質問

1. HDCP エラーがある時にはどうしますか？

HDCPエラーは通常、同期やハンドシェイクといった問題が引き起こします。スイッチからすべての機器のプラグを抜き、電源からスイッチを抜きます。すべての機器のプラグを再度差し込み、設定をすべてやり直します。これにより問題が解決します。

2. スイッチが作動しない時、または音声が聞こえない場合はどうしますか？どのように問題の診断をしますか？

機器の診断基準

すべてのHDMIケーブルがスイッチに完全に挿入されていることを確かめてください。接続が確実に行われていないと問題を生じることがあります。HDMIケーブルが正常に使用できる状態であることを確かめてください。HDMIケーブルに問題があるかどうか、別のHDMIケーブルを使用し、確かめてください。入力機器の電源が入っていることを確かめてください。診断の際は、入力機器を１台に限定してテストしてください。入力機器がテレビと直接正常に作動するかチェックしてください。これによりHDMIケーブルのチェックも同時にできます。接続されている入力端子に対応するリモートコントロールの入力番号を押してみてください。

3. 広告で紹介されているとおりに自動切替が作動しない場合はどうしますか？

自動切替のしくみについて知るには、１１ページの「自動入力選択」を参照ください。

操作

HDMI 入力インジケータ

501BNスイッチは、フロントパネルに５つのHDMI入力インジケータがあります。スイッチがHDMI入力端子のいずれかで音声・映像の伝送を感知すると、対応するHDMI入力インジケータが赤く点灯します。HDMI入力を選択すると、対応するHDMI入力インジケータが青く点灯します。入力信号がない場合、またはHDMIケーブルが接続されていない場合は、HDMI入力インジケータは点灯しません。

フロントパネル・ボタンでの入力選択

HDMI入力を選択するには、HDMIスイッチのフロントパネル上　SWITCH（スイッチ）ボタンを押します。ボタンを押すごとに、アクティブとなっている次のHDMI入力端子へ進みます。選択された HDMI入力端子からの信号が出力端子に送られ、対応するHDMI入力インジケータが青く点灯します。

リモートコントロールでの入力選択

リモートコントロールの上下ボタンは、フロントパネルの　SWITCH（スイッチ）ボタンと同様に機能します。HDMI入力を選択するには、HDMIスイッチのリモートコントロール上下ボタンを押します。Up（上）ボタンを押すと、アクティブとなっている次のHDMI入力端子に進みます。Down（下）ボタンを押すと、アクティブとなっている前のHDMI入力端子に戻ります。選択されたHDMI入力端子からの信号が出力端子に送られ、対応するHDMI入力インジケータが青く点灯します。

リモートコントロールには直接入力選択ボタンもあります（ボタン1, 2, 3, 4, 5)。各ボタンを押すと、アクティブな入力信号の有無にかかわらず、対応するHDMI入力端子を選択できます。

自動入力選択

501BN　HDMIスイッチの電源を最初に入れた時、スイッチは入力端子を自動的に検知し、入力端子ソースを1 -> 2 -> 3...の順で自動的に切り替えます。信号なしで入力端子をバイパスします。

新しく別の機器の電源が入ると、スイッチはその入力を自動的に選択します。例えば、ケーブルテレビのスイッチを入れると、HDMIスイッチは自動的にケーブルテレビに切り替わります。現在選択されている機器の電源を切ると、スイッチは自動的にアクティブ信号の出ている次に大きい数字の入力を選択します。(1 -> 2 -> 3...)

注意: ソース機器のなかには、電源を切ったと思われる時にもスタンバイモードにあり、スイッチとの接続状態を維持するものがあります。この作動上の不適合によって、HDMIスイッチの自動切替は行われなくなります。入力のスイッチを切った後にHDMIスイッチのLEDをチェックし、テストすることができます。

Apple TV はそうした不適合機器の一つです。全ての入力機器につき、電源が切れている時に LEDをチェックして確認してください。

Apple　TV　の電源切入の操作をしても変化はありません。 ただし、他の機器の電源切入操作により自動切替が可能になる場合もあります。Apple　TVから、新たに電源を入れたケーブルボックスまたはBlu-rayプレーヤーに切り替えることができます。Apple TVが1 -> 2 -> 3...の次の順番に位置していた場合は、ケーブルボックスまたはBlu-rayプレーヤーの電源を切ってApple TVに再び切り替えることもできます。

端子の割り当てを決める際、お役に立てることがございましたらsupport@kinivo.com　まず、入力機器（ケーブルボックス、Blu-rayプレーヤー等）に、電源がオフの時にHDMIの端子をアクティブの状態に保つ前述のような作動上の不適合があるか、テストする必要があります。

FCC 規格について

本装置は、FCC規格パート１５に規定されたクラスＢデジタル機器の制限に適合していることが検査のうえ確認済みです。この制限は、住宅地での有害な干渉に対する適切な保護を規定しています。本装置は高周波エネルギーを発生、使用し、また放出することもあります。指示通りに設置・使用が行われない場合、無線通信に支障をきたすこともあります。

ただし、特定の設置方法によって干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置がラジオまたはテレビの受信障害を起こすときは装置の電源を切ることで確認できますが、その場合使用者は**下記の方法により干渉が起きないように努めてください。**

- 受信用アンテナの向きを変えるか、場所を移すかする。
- 装置を受信用機器から離す。
- 受信用機器が接続されている回路とは別のコンセントに装置を接続する。
- 他の方法につき、販売店、またはラジオ・テレビについて熟知した技術者に相談する。本装置の、FCC規格遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を装置に加えることにより、お客様が装置を操作する権限が無効となります。

本装置は、FCC規格パート１５の規定に適合しています。操作は下記２条件に基づきます。

1. 本装置は有害な干渉の原因となってはならない、また
2. 本装置は、誤動作の原因となる干渉を含め、受信する干渉を許容しなければならない。

製品を処分する際は、再生利用可能な部品はすべてリサイクルしてください。電池および充電式電池は一般廃棄物として捨てないでください！地域のリサイクリング指定場所でリサイクルするようにしてください。環境保護に協力することができます。

保証

１年間ハードウェア限定保証

Kinivo　社は、本製品が、正常なご使用状況では適切に使用できる状態にあること、素材または製造に　欠陥のないことをご登録のお客様に対して、ご購入日より１年間保証いたします。製品は、各検査項目において最高の品質基準を満たすようテストされております。万が一製品に欠陥が認められた場合、弊社にて無償で修理または交換させて頂きます。交換が必要な場合、弊社による同製品の取り扱いが終了していたときには、Kinivo社は同様の品質・サイズで、使用目的に合致する代替製品と交換する権利を 留保します。

本保証は当該製品の修理または交換のみに適用され、譲渡はできません。また、誤ったご使用や天災地変、またはKinivo社が制御できない一切の事由により破損した製品には適用されません。本保証は、上記の限定保証内容に違反した結果生じた付随的または間接的損害については適用されず、弁償または　支払いを行わないものとします。上記の限定保証を除いて、当社は他のいかなる明示または黙示の保証も提供しません。また、本保証書に明示された限定保証以外の保証は、商品性の黙示的保証、特定の目的への適合性の黙示的保証を含むいかなる保証も、すべて放棄します。

お客様の製品がご使用になれない場合、または気がかりな点等ございましたら、返品をされる前にKinivo社サポートまでお問い合わせください。

オンラインサポート・お問合せ

support.kinivo.com またはwww.kinivo.com にて、サポートに関する情報、ダウンロード、使用法の説明をご覧ください。または、Eメール、チャットでお問合せください。（詳細は下記参照）

Kinivo 製品サポート
Eメール：support@kinivo.com
チャット: http://support.kinivo.com

KINIVO®

1 年間
ハードウェア限定保証

Kinivo 製品サポート

オンライン：http://support.kinivo.com

Eメール　：support@kinivo.com

Made in china